



別紙第一

機密横須賀鎮守府第四特別陸戦隊命令第八號

昭和十七年五月二十二日

横須賀鎮守府第四特別陸戦隊司令 近藤三郎

Y六横須賀鎮守府第四特別陸戦隊命令

一 敵情

大東亞戦争進展Y五作戰迄ニ引續ク討伐掃蕩ノ

結果警備区域内敵匪ハ愈々逼塞シ抗戰意識ナク奥地

ニ遁入シ僅カニ後方治安攪乱ヲ策スルノミナリ

二 友軍ノ状況

六月上旬ヨリ友軍各部隊ハ管内迄ニ特定区域ニ於テ敵

匪掃蕩ヲ期シ一齊ニ作戰ヲ開始ス

封鎖部隊(鴻南南丸第三運和丸)ハ主トシテ海南島北部

沿海ノ封鎖ニ任ズ

作戰目的

奥地敵匪ノ策源地ヲ討伐覆滅シト占據地域ヲ擴大シ同
地治安ノ徹底的確ヲ圖リ併セテ敵糧食ノ断絶敵性物
資ノ獲得ニ努メ敵ヲシテ再ビエツ能ハザラシムルニ在リ

四、作戰期間及呼稱

一、作戰開始ヲ六月下旬×日トシ×日ハ特令ニ依ル

作戰期間ハ約十日間ノ豫定

二、本作戰ヲ「六作戦」ト呼稱ス

五、兵力部署

第一中隊	部隊名	兵力区分	記事
四 横	指揮官	固有第一中隊 本部下小隊半(五分隊)	

第一討伐隊	第二討伐隊	第四中隊
特	司	令
第二中隊長	第四中隊長	第四中隊長
第二中隊よりナルベウ多数 第三中隊よりテ小隊全中隊	竹内兵曹長、指揮下ニ南辰分 隊、高石下分隊、稚屋下分隊 第四中隊より九バウ多数	固有第四中隊 第二、第三中隊より各下分隊
		主トシテ道路 作業ニ従事ス

(一) 右ニ定ムルモノ、外、固有編制トス
 (二) 本部署完成時機ヲX-1日トス

0910

六各隊、任務方、並ニ行動	
部 隊	任 務
第一中隊	<p>現ニ遂行シラレル、米吉、道路並ニ新 感道路、建設ヲ多ク、且此ニ區域ノ 徹底的討伐肅正ヲ行フ、本部ヨリ 派遣シ、中隊長ハ新村ヲシテ新感 道路建設ニ充テ、且該兵カラ以テ シトシテ昌江河右岸ノ掃蕩ニ任セシム</p>
第一討伐隊	<p>一白河方面ニ残存スル敵匪、剿滅ヲ 圖リ、且敵極強領以西住民ヲシテ我ニ 全幅信賴協力セシムル如ク指導サレ シテ敵糧道ヲ根絶ス</p> <p>一高石ノ敵極強領一白河間自動</p>
行 動	<p>中隊長、是兒所ニ據ル</p> <p>第一中隊長之ヲ指揮シ、第二討伐 隊ニ進出ト呼應シ、西榮海旺ヲ 經テ白河ニ到リ、同部隊ト合ス</p>

0911

<p>其他部隊</p>	<p>第二討伐隊</p>	
<p>一 占據地未占據地ニ於ケル敵匪ノ死命ヲ制スルヲ目的トシ徹底的掃蕩ヲ行フ 二 持ニ未占據地住民ヲシテ我ニ全信ヲ倚セシメテ敵匪ヲシテ存命ノ余地ヲシム 三 第四中隊ハ白沙和威間第三中隊ハ高石嶺極嶺間ノ道路ヲ速ニ完成ス</p>	<p>一 白沙方面ニ殘存スル敵匪ノ削減ヲ圖リ且同方面ニ速ニ二小隊(各内小隊ヲ進駐豫定地ヲ踏ハス)ス 二 和威―白沙間道路ヲ完成ス</p>	<p>車道路構築ノ豫定地ヲ踏査ス</p>
<p>各中隊長ノ定見所ニ據ル</p>	<p>一 本職之ヲ率テ和威ヲ白沙到リ第一討伐隊ヲ合シ敵匪ヲ徹底的掃蕩滅ス 二 今本職ハ第一討伐隊ヲ直率ス 三 内小隊ハ和威白沙道路自沙ニ於ケル中要害式兵舎ヲ速ニ完成セシメ同地ニ進駐ス</p>	

0912

七、通信計畫

別紙所是通

八、補給計畫

(一) 奥地討伐隊ハ各自必ズ糧食一日分ヲ隊備食ニ食入リ携行スルモノトス
(二) 糧食、副食物、罐詰ヲ避ケ尋ラ味増又ハ塩、ミトシ以テ補給隊人夫數ヲ

極力制限スルモノトス

(三) 其他細項ニ関シテハ主計長ノ是タル所ニ據ル

九、醫務衛生

(一) 討伐隊ハ必ズ蚊帳及防蚊ツクリムヲ分携行シ且防蚊具ハ少クモ夜間
哨兵ニ立ツベキ者ハ必ズ行渡ル如クスベシ

(二) 日射病豫防藥若干ヲ携行スルモノトス

(三) 其他細項ニ関シテハ主計長ノ是タル所ニ據ル

一〇、報告

0913

- (一) 各中隊長及討伐隊指揮官ハ討伐計画ヲ是ノ速ニ報告スベシ
 - (二) 戦闘各ニ北黎本部宛報告(通報)スルモトス
 - (三) 討伐隊ハ毎日ノ行動宿营地ヲ北黎本部宛報告(通報)スルモトス
 - (四) 作戦終了後一週間以内ニ所定ノ戦闘諸報告ヲ經過ノ概要成
果及所見ヲ提出スベシ
- 一、其ノ他必要ナル事項
- (一) 敵性部落ト雖モ兵舎並ニ敵ノ利用スベキヲ明ルル施設以外ハ極力
焼却破壊ヲ避クベシ
 - (二) 雨衣並ニ着換衣類若干最少限度ノ日用品外極力携行物件ハ
節約スルヲ要ス
 - (三) 奥地討伐隊ハ必ス軍靴ヲ穿用スベシ
 - (四) 豫備食ヲ放棄シヌハ人夫等ニ領與スルコトヲ嚴禁ス

(終)

別紙

Y.六作戰通信計畫

一無線電二有線連絡

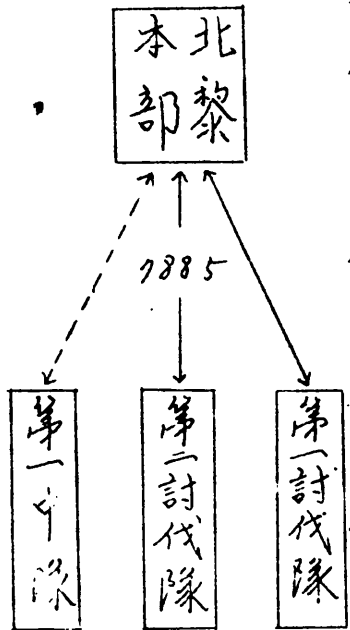
(一)人員及使用兵器派定区分

第二討伐隊	大星 本部 一	高石 本部 一	派定先	電信員	暗探員	電信機	暗探書	記	事
			下士官	兵					
	本部 一								
	本部 一	高石							
	本部 一	高石							

備考

- (一) 増派員及兵器はX日中二所屆討伐隊指揮官下到着スルベシ
- (二) 第一討伐隊暗探員ハ中隊兼務暗探員ヲ以テ之ルベシ
- (三) 第一中隊ハ必要ニ應ジ樂安電信員ヲ以テ通信隊ヲ編制スルモトス

(二) 通信系及使用電波



(1) 点線ハ必要應ニ連絡
 (2) 交信順序第一三討伐隊
 第二中隊ノ順序トス

(三) 呼出符號及使用暗號書

(1) 呼出符號

第一討伐隊 D-1 第二討伐隊 D-2 第一中隊 D-3

其他固有

(四) 暗號書

已 十

(四) 通信時間

- (イ) 毎日ハ。ヨリニ三。迄毎時、初メ連絡
- (ロ) 討伐隊戦闘又ハ行軍中ハ通信時間ト雖モ待受ケザルトアリ
- (ハ) 萬沖及樂安ハ關係電報、直了ニセザル共ニ狀況ニ依リ之ガ
中絶ニ任ズベシ

(五) 雜件

- (一) 留守隊間、連絡ハ有線電話ニ依ル
- (二) 雨期ニ備、防濕装置ヲ完全ニシテ全能發揮ニ遺憾ナラシムベシ
- (三) 本作戰中ハ特ニ電波精度ヲ保持スベシ
- (四) 配布兵器圖書ハ亡失毀損セザル様注意シスト共ニ機密保持ニ
對シ留意シヨ要ス

(六) 各種信跡法

0917

(一) 味方識別法

進撃手段	主隊 = 合同	中隊以下部隊所在地	司令所在地	信文
	(1) 軍艦旗 = 旗 使用 (2) 信旗拳銃白 = 發以上	軍艦旗 一旗	(1) 軍艦旗 一旗 (2) 信旗拳銃白 一發	書 間
	(1) 信旗拳銃 (2) 信旗拳銃	(1) 懷中電灯 空中 = 一月 旗 (2) 信旗拳銃 赤 一發	(1) 懷中電灯 空中 = 二月 旗 (2) 信旗拳銃 赤 赤	夜 間

(二) 敵所在標示法

發煙筒及火箭筒使用

(三) 空地連絡法

(1) 地上部隊より飛行機へ

0918


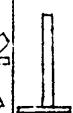

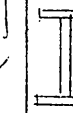
布板信標法

陸戦隊所在	我が第一線ノ位置	附近ノ敵情知ラセ	附近友軍ノ状況知セテ度	此ノ方向ニ敵アリ
信	文	信	振	法

敵ノ所在我ヲ距離千米場合ハ矢付ノ前ニ千單位ノ頭數字ニ相当スル數ノ白布ヲ、百單位ノ場合ハ矢付ノ後方ニ百單位ノ頭數字ニ相当スル數ノ白布ヲ布置ス

例

此ノ方向ニ敵アリニ千米	此ノ方向ニ敵アリ三百米

此ノ方向ニ敵アリテ二百米		
我が前方ノ敵ヲ爆撃セヨ		
危険ニ付爆撃スベカラズ		
引退スル威嚇飛行ヲ		
必 飛煙筒信號法 (五三内)		
信 號 法	信	文
キヨク飛煙筒ニヨル飛煙	我敵交ハ中(襲撃ヲ受ケ)煙ノ位置	
(2) 飛行機ヲ地ニ部隊ハ		
(1) 通信筒投下		
(2) 信 號		
信 號 法	信	文
飛煙筒投下	煙ノ位置ニ敵アリ	
連續投下	第一線ヲ示セ	

機翼ヲ左右ニ動搖ス 承知(了解)セリ

本板信號ニ使用スル本板ハ長サニ米幅五寸程以上ニシテ
航空機ヲ視認容易ナル如クス

(終)

0921

軍秘

機密 橫領第四特陸命令第九號

昭和十七年六月二日

橫須賀鎮守府第四特別陸戰隊司令近藤三郎

Y六作戰白沙方面討伐計畫

一 敵情

大東亞戰爭、進展茲ニY五作戰ニ引續ク各隊ノ討伐掃蕩ノ結果敵匪ハ愈々逼塞シ抗戰意識ナク奧地ニ遁入シッ、アリ尚白沙筒南部ニ遊匪數十名蟠踞シアルモノ、如シ

二 友軍ノ狀況

第二中隊長ノ率ル第一討伐隊ハ高石方面ヨリ教極嶺、海旺ヲ經テ第三日白沙縣城南方半新新村ニ到リ五隊ニ合同ス第一中隊ハ主トシテ樂安東方間昌江流域、徹底的討伐肅

正行ト同時ニ樂東道路建設ニ當ル
 其他各隊ハ擔任警備地區ヲ討伐掃蕩ニ任ジ且第四中
 隊ハ和盛白沙間道路建設ニ從事ス

三 作戰目的

白沙方面ニ潜在後方攪乱ヲ策シツアル殘敵ヲ捕捉之ヲ數
 滅シ同地域ヲ確保シ進駐地及和盛白沙間道路ヲ踏査
 行ト同時ニ治安確立上不拔態勢ヲ確立スルニアリ

四 作戰期間

六月八日ヨリ約十日間

五 討伐隊ノ兵力編制及主要裝備

司		指揮官	隊長	記
副官	本部附	九(本部中隊)	輕機一自奉二	
鈴木田原高長	指揮小隊	八(指小)九	輕機一自奉二	信號員八信號拳銃彈赤白青 各五ヲ携行スルモノトス

0923

令				
中島 主持 中尉	軍醫 長	大尉 指揮 小隊長	務 長	持不 橋 長
通 辭	主 計 隊	醫 務 隊	第 二 隊	第 一 隊
五 本 部 中 (一 四)	三	四	三 大 星 本 部 (一 三)	五 小 星 本 部 (一 三)
			電 信 機 一 組	輕 機 一 組
代用通辭 五名			二本部及三中隊より軍馬三頭ヲ 附ス	

備考

参加隊六月七日一六。迄和盛介遣隊集合編成ヲ行フ

六壯備

(一) 戦闘武装 (マスク不用、雨衣持参)

(二) 携行彈藥 (一銃ニ付キ)

小銃 一〇。拳銃 四。輕機 二。自動拳銃 二。

輕擲 二。重擲 八。各小隊信號火箭 二。

三、豫補彈藥 小銃彈 二箱 重輕擲彈 各一。

七、行動豫定

第一日 和盛發—朝亭—冷勤—下黎村駐軍

第二日 下黎村發—打玄—探鈕—打雅儒—老村駐軍

第三日 老村發—白沙縣城南方新村(第一討伐隊之合入)—打模村—

番陽討伐基地駐軍

第四五六日 附近討伐 茲ニ進駐地踏査

第七八九日 基地發 第一討伐隊ハ本職之ヲ率キ高石(固有軍隊)白打(固有軍隊)ニ向ケ歸隊ス

第二討伐隊ハ第四中隊長之ヲ率キ和盛ニ向ケ歸隊ス

第十日 豫備

八、通信計畫

機密横四持命令第八號別紙所是通

九、補給計畫

- (一) 奥地討伐隊ハ各自必ズ糧食一日分豫備食ニ食分ヲ携行スルモノトス
 - (二) 糧食副食物ハ罐詰ヲ避ケ専ラ味噌又ハ塩ミトシ以テ補給隊人夫数ヲ極力制限スルモノトス
 - (三) 飯盒烹炊ヲ例トス
 - (四) 其他細頃ニ關シテハ主計長ノ定ムル所ニ據ル
- 醫務衛生
- (一) 日射病豫防藥若干蚊帳及防蚊クリームハ、外防蚊具若干ヲ携行スルモノトス
 - (二) 其他細頃ニ關シテハ軍醫長ノ定ムル所ニ據ル
- 二 其他必要ナル事項
- (一) 敵性部落ト雖モ兵舎竝ニ敵ノ利用スベキコト明カナル施設以外ハ極力焼却破壊ヲ避クベシ
 - (二) 討伐隊ハ蚊帳及各自飯盒毛布一枚最小限度ノ日用品ノ外極

0926

カ携行物件ハ節約スルヲ要ス
三 奥地討伐隊ハ必ズ軍靴ヲ以テ用スベシ
四 豫備食ヲ放棄シ又ハ人夫等ニ頒與スルコトヲ嚴禁ス

(終)

0927

軍機秘

機密横鎮第四特陸命令第一〇號

昭和十七年六月二日

横須賀鎮守府第四特別陸戰隊司令近藤三郎

海南警備府
17. 6. 4
機受第 辨
普

横須賀鎮守府第四特別陸戰隊命令

一、六月六日作戦開始日時ヲ六月八日トス、各隊ハ六月八日ニ至ラバ命令ナクシ

テ發動スベシ

ニ各隊ハ六月七日中ニ諸般ノ準備ヲ完了スベシ

三、本職トシテ。北黎本部發和威ニ至リ第一討伐隊ヲ直率ス

附令

當隊機密命令第八號中本部ヨリ派出スベキ兵カヲ第二討伐隊ニシテ分隊(司令直率)第一中隊ニシテ小隊長吉田兵曹長銃隊(四ヶ分隊)ニ改ム

(終)

0928